



地球は、今…

地球温暖化問題はますます深刻化し、大気中の二酸化炭素濃度が産業革命以前の状態から大幅に上昇しており、「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」が2001年に取りまとめた第三次評価報告書によると、地球の平均地上気温は、20世紀中に約0.6℃上昇し、1990年から2100年までの間に1.4℃～5.8℃上昇すると予測されています。

また、南極地域では成層圏オゾンが著しく少なくなるオゾンホールが毎年発生していましたが、北極地域でも発生が確認されており、世界的にも成層圏のオゾン層は減少する傾向にあります。オゾン層の破壊による紫外線量の増大は、人の健康や生物に大きな影響を及ぼすと考えられています。

硫黄酸化物や窒素酸化物の排出により発生する酸性雨は、生態系への悪影響、土壌や湖沼の酸性化、森林の立ち枯れといった諸問題を広域的にもたらしています。この他様々な気候的要因や人間活動による負荷が原因となって、森林減少、砂漠化などの土壌劣化、生物の減少、淡水の不足や水質汚濁などの問題が深刻化しています。

札幌は、今…

札幌は、北方圏の拠点都市としての都市づくりが進められてきました。その結果、私たちの生活は飛躍的に便利なものとなりました。しかし、都市化に伴う人口の集中や産業の集積などによって、資源やエネルギーが大量に消費され、私たちの身近な環境に様々な影響が及ぶこととなり、さらには私たちの生存の基盤である地球環境が脅かされるまでに至っています。

今や札幌に住む私たちの活動そのものが、地球の環境を左右するようになりました。私たちは、地球の環境を守るため、現在の生活のあり方を見直さなければならないという人類共通の課題に直面しています。

身近な札幌の環境、さらにはかけがえない地球環境を保全し、これを良好な状態で将来の世代に引き継ぐことは、私たちの願いであり、また、使命でもあります。私たち一人ひとりが地球で生きるものとしての自覚を持ち、環境の保全に取り組んでいかなければなりません、

未来の札幌へとつなぐ私たちのシナリオそれが「札幌市環境基本計画」です。

